

公益財団法人つなぐいのち基金
令和3年度 第1回 評議員会(定時)議事録

1 開催場所 オンライン開催会議 および 東京都中央区京橋2丁目14-1 兼松ビルディング 3階

2 開催日時 令和3年2月4日(木) 17:00-18:00

3 理事現在数及び定足数 現在数 5名、定足数3名

4 出席評議員 3名

出席: 福岡評議員 長谷川評議員 角田大憲評議員 小澤評議員候補 趙評議員候補

鶴居副代表理事 豊住専務理事 木村常務理事 議事録作成者: 豊住専務理事兼事務局長

5 議案

【審議事項】

1号議案 令和2年度定期報告書類(事業報告書および決算諸表等)の承認の件

2号議案 任期満了理事の再任について (鶴居理事)

3号議案 任期満了理事の再任について (清水理事)

4号議案 任期満了理事の再任について (豊住理事)

5号議案 任期満了理事の再任について (下村理事)

6号議案 任期満了理事の再任について (篠原理事)

7号議案 新任評議員候補について (趙 珉技 氏) ※資料当日配布

8号議案 再任評議員候補について (小澤浩明 氏)

9号議案 任期満了監事の再任について (安藤監事)

【報告案件】

・監事監査報告

・休眠預金 新型コロナウイルス対応緊急支援助成の資金分配団体への応募の件

・事務運営管理規程(事務局規定・経理規定)の件

6 会議の概要

(1) 定足数の確認 冒頭で豊住専務理事兼事務局長から定足数の充足を確認した。

(2) (2) 議事録署名人の選出

議案の審議に先立ち、福岡評議員、角田大憲評議員を議事録署名人として選出した。

議案の審議状況及び議決結果 定款に基づき、鶴居副代表理事が議長となり議案の審議に入った。

<決議事項>

第1号議案 令和2年度定期報告書類(事業報告書および決算諸表等)についての審議・承認の件

議長の求めに応じ、豊住専務理事兼事務局長から、定期報告書類についての議案説明があった。

(豊住専務理事)

新型コロナウイルス感染症の影響で、助成金対象事業の選定と支給こそ滞りなく実施できたものの、以外の事業は全般的に滞り、年度内の実施はあきらめざるを得ない状況となった。コロナ禍による影響は助成金対象事業実行団体にも及ぶもので、原則1年としている事業実施期間の延長対応をはじめ申請計画の変更要請に対して柔軟に対応している。

取材広報活動については、協働する高校が(オンライン含め)外部との接触制限となりストップしていたが、緩和により10月よりオンライン取材という形で再開している。以下、概況のポイントとなる5項目である。

- ① コロナ禍においても助成金対象事業の選定・支給は計画通り実施できた
- ② コロナ禍により助成先取材など啓発広報活動は全般的に停滞となった
- ③ コロナ禍により創立記念関連行事および関連業務はすべて無期順延とした
- ④ コロナ禍により実施が困難となっている助成先対象事業の柔軟な変更措置等の対応中
- ⑤ コロナ対応により助成先取材を含めオンラインによる新たなスキームが構築できた

助成の応募について、会計年度と助成事業対象年度の統一により分かりやすくなったこともあり、応募数申請事業の質とも上昇し、素晴らしい事業への助成ができた。

新規で冠基金設立申込みいただき、令和3年度に after コロナを意識した子ども居場所支援について公募を予定している。

令和2年度決算について。寄付金等についてはコロナ禍の経済的影響でマンスリーサポーターの継続が困難につき退会のご連絡を多くいただくこととなり一般寄付は大幅減額となった。しかし、冠基金の設立があり助成募集は次年度となることから資産合計は 8,864,120 円前年比約+100 万円となった。経常損益・経常費用は前年比較では、やや減少するものの同水準となり、それぞれ 5,545,554 円、5,545,7010 円となった。また、本年度より給与所得従業者がいるため、社会保険料関連の法定福利費、預り金（源泉徴収額）、前払費用（労働保険概算払）が発生している。

（角田大憲評議員）

寄付の状況はどうなっているか。

（豊住専務理事）

長年支援くださっていたマンスリーサポーターの方からコロナ禍での家庭の経済状況の悪化を理由に終了のご連絡を6名よりいただいた。また、3月に連年で5万円の寄付での支援をしてくださった方からも当該年度は振込がなかった。これまでのご支援を感謝するとともに、それぞれの日常が恙ないことを願ってやまない。

（角田大憲評議員）

承知した。

（長谷川評議員）

10周年関連はどうなっているか。

（豊住専務理事）

記念行事関連はすべてコロナ終息を待ち延期とした。10周年を機にミッションステートメント見直しについては検討中で、理念が伝わるような分かりやすいスローガン作りから着手している。素案は『子どもたち・次世代へのあなたの思いを「つなぐ」「伝える」』であるが、ワードを更に洗練していく予定である。

（長谷川評議員）

承知した。

続いて、議長が上程案件について諮り、出席評議員全員異議なく、原案どおり承認された。

第2～6.9号議案 理事の選任の件

議長の求めに応じ、豊住専務理事兼事務局長から、理事の選任についての議案説明があった。

（豊住専務理事）

昨年選任の木村理事を除く5名の理事、及び安藤監事が改選となる。原案通り改選されると、理事会体制は6名、監事2名体制にて、継続できることとなる。

＜重任＞ 清水祐孝、鶴居由記衣、豊住吉弘、下村朱美、篠原一廣、安藤算浩

続いて、議長が上程案件について諮り、出席評議員全員異議なく、原案どおり承認された。

7号議案 新任評議員候補について （趙 珉技 氏）

8号議案 再任評議員候補について （小澤浩明 氏）

議長の求めに応じ、豊住専務理事兼事務局長から、評議員の選任についての議案説明があった。

（豊住専務理事）

昨年、大学教授としてのサバティカル年度となるため兼任禁止の学校規則により辞任せざるを得なかった小澤教授が在外研究を終え、再任について承認くださった。新任候補の趙氏を含め原案通り改選されると、評議員会は7名体制となる。趙氏については推薦人である木村常務理事から説明する。

（木村常務理事）

当財団初の外国籍の役員となる。ライフエンディング業界の会社にて就業する傍ら、ソーシャルセクターの法人・団体のアドバイザーや顧問を歴任されており、知見や人脈も豊富である。また、事業戦略に関する業務を得意としており、事業運営・業務執行状況についての監督やアドバイスなどをいただける予定である。

＜新任＞ 趙 珉技（東京都 板橋区南町 239 ロイヤルヒルズ 305 在住）

＜再任＞ 小澤浩明

続いて、議長が上程案件について諮り、出席評議員全員異議なく、原案どおり承認された。

【報告】

・監事監査報告

令和3年1月29日監事監査を実施し、いくつかの改善点について指摘されたが運営自体は「問題なし」との報告をいただいた。(監事監査報告参照)

尚、指摘改善点については以下の通り。

特定資産の口座が運転資金普通口座を同一のままとなっており望ましくない。当財団代表の財団運営基盤整備の指定寄付といえども、令和3年度中に改善することを必要であると思料する。

他に、検証の結果、勘定科目の修正、財務諸表注記の記載漏れを修正した。結果、前年度の要修正箇所も確認され、令和2年度報告時に修正についても事務担当官に申告することとした。

・休眠預金 新型コロナウイルス対応緊急支援助成の資金配分団体への応募の件

コロナ禍で子ども支援団体の多くの代表から、個人寄付金や法人からの支援などが大幅に減少しているという話を聞く機会が増えている。同時にボランティア等の参加も難しい状況で事業運営に余裕がなく、助成金への応募もリソースが不足しているようである。これらの社会環境を鑑み、例年12月～2月を募集期間としていたが令和3年度募集は4月～6月としたい。また、支給の迅速化のため、事業計画にて理事会承認後支給としていたプロセスをコロナ禍対応として常任理事会承認とする。また、当財団助成選考委員より選考公正性、選考団体助成後の実績などを考慮すると休眠預金助成の資金配分団体として相応しいと思料すると応募についての提案があった。意気に感じたこともあり、当該助成資金配分団体として応募することとした。

・事務運営管理規程(事務局規定・経理規定)の件

休眠預金助成の応募に向け、これまで用意できていなかった、事務局運営と経理に関する規定を作成した。

事務取扱細則ではなく、あくまでガバナンスを確保するため運営・処理に関する基本的な内容となっており、事務局内の分掌や管理系統、また帳簿種類及び保存期間などの原則的なものとしている。

以上をもって議案の審議等を終了したので、18時00分、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した副代表理事及び議事録署名人は記名押印する。

令和3年2月4日

副代表理事 鵜居由記衣

議事録署名人 福岡武彦

議事録署名人 角田大憲

議事録作成者 豊住吉弘